



日本とベトナムの架け橋



国	籍	ベトナム
職	種	介護
実習実施者		医療法人聖真会
監理団体		メディカルケア協同組合

グエン ヴァン アイン
NGUYEN VAN ANH

私は今高知県にある病院で介護技能実習生として働いています。私が介護を選んだのには2つ理由があります。一つ目の理由は、日本人の生まれながらにして持っている「万物に感謝する心」を学びたかったからです。感謝の気持ちは自分も相手も幸せにすることができます。自分だけではなく相手の心に耳を傾け、相手の気持ちを想うことができる人は自分や周りの人を大切にできます。それはとても素敵な事です。二つ目の理由は、私自身がおじいちゃんっ子、おばあちゃんっ子であったことから介護は私に向いてそうだったからです。ある日入院してきたおばあさんが子供の話をしてくれました。「コロナで長い間会えていなくて寂しい。けれどもいつも子供の幸せを一番に思っている」と。私は急に両親のことを思い出しました。私の両親は身体が弱く病気がちでしたが、私達姉妹が日本へ行けるようあちこちからお金を借り、どんな困難にも負けず一生懸命働いてくれました。私が日本に行く時200000ドン、100000ドンのお札を大きな封筒に入れ、手紙を添えて渡してくれました。日本円で15000円位でした。しかしここまでの道の

りは想像以上に厳しいものでした。選考会では2回連続不合格、3回目ようやく合格しこのまま順調に日本行けると思っていたのですが、ベトナムの日本語学校で更なる困難に直面しました。私の実家は貧しく、子供が親の仕事を手伝うのは当たり前で、他の同級生のように家に帰って勉強する時間はありませんでした。将来の為に勉強より今日生きていく為の仕事が優先であり重要でした。アルファベットさえまともに知らず何も知識の無い私は、クラスメイトから「そんな簡単なことができないなんてばかだ。他のクラスメイトに迷惑をかけているのが分かっているのか?」と言われ大きなショックを受けました。もう諦めて今すぐここから逃げ出したいと思いました。しかしここまで苦勞して育ててくれた両親の姿を思い出すとそれはできませんでした。もう一度頑張る覚悟を決めた私は、自分の弱点を受け入れ、誰よりも努力し勉強しようと心に誓いました。その後6ヶ月にわたる猛勉強の末N4に合格し、学校での成績順位は一位になりました。今日生きていく為に働く事はかなりの疲勞を伴いましたが、勉強する事は辛くはありませんでした。勉強は明日への自信と自分の成長を感じる事ができました。今日を迎えるまでに様々な困難がありましたが、勉強し誰よりも努力しようと心に誓ったあの日以来、毎日たくさん勉強してきました。そして日本へ来て1年6ヶ月後N1に合格しました。私は将来ベトナムで日本語学校の先生になりたいです。ベトナムの子供達に日本人の万物に感謝する心や、相手を想いやる気持ちを教えながら日本とベトナムの文化交流に貢献したいです。